

さあ、新潟を世界へ。



NIIGATA

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議

2023 **5.11** (木) - **13** (土)

会場: 朱鷺メッセ

※朱鷺メッセを想定し準備中



協議会の
特設サイトはこちら!



g7niigata2023.jp

G7 新潟を世界へ

G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議 デザインにこめた想い

「G7」のロゴに散りばめたのは、新潟が世界に誇る食、文化、伝統、自然。それを囲むのは新潟市8区のイメージカラーと、新潟県が掲げる観光将来像から着想した黄金、白銀の計10色。新潟の魅力を発信し、「オール新潟」で会合を華やかに彩り、豊かに盛り上げるイメージを表現しました。



道遊の割戸



新潟古町芸妓



朱鷺メッセ・信濃川



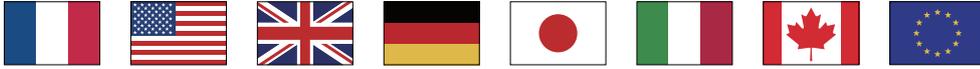
弥彦の稲穂



長岡まつり花火大会

G7サミット(主要国首脳会議)とは

フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ(議長国順)の7か国並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議で、今年は日本が議長国です。会議では、G7首脳が世界経済、地域情勢、様々な地球規模の課題について意見交換を行います。



G7広島サミットロゴマーク

関係閣僚会合

G7では、首脳会議のほか、関係閣僚会合を各地で開催いたします。



「G7財務大臣・中央銀行総裁会議」とは

主要7か国の財務大臣・中央銀行総裁に加え、欧州委員会(EC)委員、欧州中央銀行(ECB)総裁、ユーログループ議長が出席するほか、国際通貨基金(IMF)専務理事、世界銀行総裁など国際機関も招待されます。世界経済情勢やマクロ経済政策のほか、幅広いグローバル経済に関する諸課題について議論される場として開催され、同会議で決定した事項が、首脳会合に反映されます。閣僚会合の中でも特に注目度が高く、国内外のメディア関係者等の来訪も多く見込まれます。多くの国際会議開催経験等が総合的に評価され、新潟市では、初の開催となります。

【参考：報道関係者数*】



*登録ベース

新潟で開催された国際会議

2008年以降、過去4回連続となる閣僚級国際会議が開催されています。



参加各国・機関代表



閣僚夕食会でのおもてなし



満開の藤棚の前での記念撮影

2008

G8
労働大臣会合

2010

APEC 食料安全保障
担当大臣

2016

G7 農業大臣会合

2019

G20
農業大臣会合

歓迎イベントや食事会での
おもてなし、会場展示
などを通じて各国代表团
等の皆さんに新潟の魅力
を発信しています。



会議場の様子



おもてなしをするボランティア



日本酒バーで新潟清酒のふるまい

財務・金融コラム

コラム
1

日本銀行は普通の銀行と
なにが違うの？

日本銀行には、普通の銀行にはない役割が
大きく3つあります。そのことから、
日本銀行は「3つの銀行」とよばれています。

発券銀行

+

銀行の銀行

+

政府の銀行

||
3つの銀行

発券銀行

日本銀行は、日本でただ一つ、お札を発行できる銀行。
お札の発行から、使えなくなったお札を処分までの
「お札の一生」を管理しています。

銀行の銀行

日本銀行は、銀行がお金を預けたり、貸し出したりする
ことができる銀行。銀行同士のお金のやりとりは、日本
銀行にある預金口座を通して行われます。

政府の銀行

日本銀行は、国のお金の出し入れを扱う銀行。国は日本
銀行に預金口座をもっており、税金などがこの口座に
集まってきます。道路の建設代金や年金、国の借金で
ある国債に関するお金のやりとりも、日本銀行にある
口座で行われます。

出典：「おしえて！日本銀行」日本銀行 情報サービス局

コラム
2

円高・円安のしくみ

外国の通貨(ドルなど)の価値に比べて円の価値が高くなる
ことが「円高」、反対に低くなるのが「円安」です。

例えば、円相場が1ドル=100円から1ドル=90円になれば、
円の価値が上昇したことになるので「円高」とよばれ1ドル=

110円となれば、「円安」とよばれます。

円高、円安は政治的・経済的要因によって外国為替市場における
円への需給が変化することで生じます。

例えば、円高では輸入品の価格が減少し、物価を下げる効果が
ありますが、円高が続けば輸出産業は苦しくなります。



出典：「知るほど」金融広報中央委員会

世界に誇る新潟の魅力



佐渡島の金山

世界文化遺産登録を目指す「佐渡島の金山」は、砂金と鉱石という異なる2つのタイプの金山で構成され、伝統的手工業により独自の発展を遂げた世界に類のない鉱山遺跡です。金山のシンボルである「道遊の割戸」は、金鉱脈を手作業で掘り進めた結果、山が掘り割られた採掘跡で、当時の人々の技を示しています。



錦鯉

新潟県発祥の錦鯉は「泳ぐ宝石」と称され、近年、海外での人気が非常に高まっています。これまで40を超える国・地域に輸出され、令和4年の全国の輸出額は63億円と過去最高額となりました。色とりどりの錦鯉が争うことなく優雅に泳ぐ姿は多くの人々の心を癒し、日本発信の平和の象徴として世界中の注目を集めています。発祥の地である長岡市・小千谷市の山間部は錦鯉の聖地とされ、世界各国から多くのバイヤーや愛好家が訪れます。



食と酒

〔食〕

コシヒカリや新之助に代表される新潟米は、国内のトップブランド米として全国一の収穫量を誇り、アジア各国をはじめアメリカやヨーロッパにも輸出されるなど、海外からもその品質や食味が高く評価されています。また、園芸も盛んで、新潟県が育成したオリジナルのいちご「越後姫」や、フランスから苗木を取り寄せ栽培が始まった西洋梨「ル・レクチエ」など、多種多様な農産物が栽培されています。

〔酒〕

新潟清酒は、きれいで、すっきりとした味わいが特徴で、国内外で高い人気を誇っています。日本一の米の産地にして、日本一の酒蔵数を誇る新潟は日本酒の聖地です。雪国の豊かな自然が育む良質な米と水、清浄な空気や低い気温に加えて、長年受け継がれた越後杜氏の匠の技が、高級な吟醸酒の日本一の産地を造り、多種多様な日本酒を造ります。

新潟市



マンガ・アニメ

新潟市は、数多くのマンガ家やアニメクリエイターを輩出しており、アマチュア創作活動も盛んです。市内中心部には、「マンガ・アニメ情報館」と「マンガの家」があり、アニメリズム協会認定の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」にも選ばれています。

海外のアニメ系トップインフルエンサーによる施設体験動画は、世界中のマンガ・アニメファンに向けて発信されており、海外からも高い注目を集めています。



花き・花木

新潟市は、優れた栽培技術に培われた歴史ある園芸産地です。なかでもチューリップの栽培が盛んで、切花は全国トップクラスの産出額を誇り、市花にも制定されています。また、球根はオランダから輸入され、大正8年に、全国に先駆けて栽培したのが始まりと言われており、歴史的に見ても日本におけるチューリップ球根の商業生産の発祥地とされています。このほか、ユリ、アザレア、ボケなど多種多様な切花・鉢花も栽培・出荷されており、多くの人々の心や生活を癒しています。